

おはようございます。会長の高橋です。

青森県支部協議会「第27回定期総会」の開会にあたり、幹事会を代表して、ご挨拶を申し上げます。

先ずは、県内各地から本総会に参加されました構成員の皆さん、朝早くからご自宅を出発された方も多いと思います。ご出席を頂きありがとうございます。

限られた時間ではありますが、総会議案について、十分ご審議を頂き今後の課題や取り組みについて、全体で認識を合わせて頂きますようお願い申し上げます。

本総会の成功に向け、退職者の会中央協議会から川辺会長、相馬事務局長、山田監事、そして、現役組織からはN T T労組青森県グループ連絡会・高橋会長に出席していただいております。

また、大変お忙しい中、多くのご来賓の皆様にご臨席を頂いております。日頃のご指導・ご支援と合せ、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私達の組織は、今年3月30日、「結成50年」を迎えました。

この一年間、組織結成50周年の年度として、50周年記念行事の成功をベースに置きつつ、組織の最重要課題として位置づけた第27回参議院議員選挙闘争、県支部協議会として初めての取り組みとなった地区協議会の統廃合課題、などに同時並行して取り組んできました。

これらの取り組みに対し、ご支援・ご協力いただいた会員の皆さん、役員の皆さんに、改めて感謝とお礼を申し上げます。

この一年間の取り組みを振り返り、時間の関係もございますので、次の2点について簡潔に申し上げ、挨拶とさせていただきます。

1点目は、第27回参議院議員選挙について申し上げます。

私達は、3年前の参院選の厳しかった得票結果と、今次の組織内外にわたる取り巻く環境の厳しさを跳ね返し、見事「吉川さおり」の4期目当選を果たすことができました。

県支部協議会としての取り組み状況や県内得票結果については、議案書記載の通

りですが、退職者の会としての全国的総括は、今後実施される組織アンケートなども踏まえ、12月予定の拡大支部協代表者会議等で行っていくことになっています。

従って、県内的な総括もそれに合わせ進めていくことにしたいと思いますが、各種取り組みを要請した立場で、現時点の感想を申し上げるならば、極めて厳しい環境を受け止め、危機感を持って対応していただいた役員皆さんの取り組みと、それに応えた会員皆さんの協力が、県内の結果に大きな役割を果たしたものと感じています。

県内において、「吉川票」を3年前の参院選より増やすことができました。これは、吉川候補本人はもとより、奈良よしとか議員をはじめ、立憲の衆参国会議員を含む県内議員団、支援組織、そして私達N T T労組の現職・退職者の会、それぞれの取り組みのトータル結果として表れたものでありますが、退職者の会としては、会員数が減少している・投票にはもう行けないという会員が増えている状況の中、議案書記載の取り組みをみんなの力で行い、その結果として、吉川当選の一翼をしっかりと担ったものと受け止めております。

また、今回の選挙戦の取り組みを通して、『日常における会と会員との触れ合いによって、会員の組織への関心・信頼が積み重なり、その結果が会員皆さんの協力・行動参加として表れてくる』ことを再認識したような気がします。

今後もこのことを忘れず、日常の組織運営・取り組みにあたっていきたいと思います。

2点目は、議案書「はじめに」の項の4点目に記載のことについて、今総会の大きな役割として認識を共有し合いたいと思います。

50年前に56名で立ち上げた組織が、今や1,500名を超える会員数となり、身近に『相談し、集える』地区協組織を結成し、県協事務局に常駐体制を確立して、会員からの共済の相談・請求に応える等をはじめとする会員サービスを退職者の会自身で行う組織にまで発展しました。

結成50周年の節目の年に開催した総会として、組織を結成し拡大・発展のために多くの課題を大変なご努力で乗り越えてきた先輩の皆さんに感謝するとともに、その歴史に学び、次の50年の歴史をみんなで歩んでいきたいと思います。

また、今総会では、三戸地区協議会が解散し、八戸地区協議会と統合することについて県全体で確認し合うことになりました。

県支部協50年の歩みの中で、三戸地区に協議会をつくり、会員みんなで活動を創り育ててきた組織の解散。残念でありませんが、今日までの活動に敬意と感謝を表しますとともに、八戸地区協議会と統合した中で、一層ご活躍されますことを期待いたします。

高齢化社会が進み、退職者の会の役割・存在が益々重要視され、今後も会の強化・発展が求められている一方で、会員の高齢化・会員数の減少・役員のなり手不足という厳しい現実の中、地区協組織の継続が困難になってきている現状にもあります。

今総会を機に、改めてこの相反するような現実課題に、みんなで向き合い・語り合って、より一層充実した組織・活動に結び付けていきたいと考えます。

以上を申し上げ、総会が成功裏に終わりますよう重ねてお願い申し上げ、簡単ではありますが挨拶いたします。

ご清聴ありがとうございました。